

## Column6 ICT を活用した支援

ICT の活用は、特別支援教育の現場でますます重要になっています。タブレット端末や様々な教育アプリの登場により、一人一人の児童生徒に合わせたきめ細やかな支援が可能になりました。

学習の困難さを軽減する手立てとして、例えば読字困難な児童生徒に対して、音声読み上げ機能を使って、教科書や資料を音声で読み上げることができます。また、形を捉えにくい児童生徒に対して、視覚支援ソフトを使って、図形や文字を拡大したり、色を強調したりすることで、視覚的な情報を分かりやすく提示できます。

児童生徒の困難さに対し、どのような支援を行えば、その困難さを軽減できるかという、児童生徒たちの個々のニーズを捉えることが大切です。



大分県のICTを活用した実践事例が多数紹介されています。

下記サイトで、



と、

検索してみてください。

[大分県教育委員会  
ICT 活用授業&探究ライブラリポータルサイト](#)

